

コンサイス 円形計算尺 NO.480 特長と使用例

NO.270Nの説明書と併用して下さい。

NO.480の特長と使用例

NO.480は一般乗除計算ができる外、日数計算を始め、年数(年齢)、週数、年号と西暦の対照、万年カレンダー、主要単位の換算等ができる非常に便利な新しい計算尺である。

- (表面) 日数、週数計算……未経過及び経過日数、週数
期日計算……貸借、手形、請負期日、作業日程の編成等
年号西暦の対照……明治38年～平成34年の対照
年数、年令計算……未経過及び経過年数、年令
万年カレンダー……明治38年～平成19年の七曜
- (裏面) 乗除計算……乗法、除法、混合乗除法
比例計算……換算、指数、百分率、按分比例、反比例
平方、立方計算……平方値と平方根、立方値と立方根、これらを含む乗除計算
対数計算…… $\log_{10} X$ 、 $\log_{10} X$
主要単位換算……長さ、面積、体積、重量

(表面の目盛) 外側から内側に順を追って説明

- ▽ 年数(年齢)……▼を0として右廻りで110年まで。
- ▽ 月日……はそその月の初め(1日)を表わし、黒の月名は大、赤は小の月を表わす。
- △ 日数……▲を0として右廻りで365等分目盛となっている。
- △ 週数と逆日数……0を境に右廻り1/2周が週数(25週)、左廻り1/2周(赤色)が逆日数(180日)である。
- △ 年号と西暦……明治38年=西暦1905年から右廻りで平成34年=西暦2022年までの対照表。英字記号は七曜を調べるときに利用し、赤の英字記号はその年が閏年であることを示す。
- △ 万年カレンダー……窓内の数字は昭和年号で、赤字は閏年であることを示す。

I 日数及び週数と期日の求め方

- A 日数を見るには起算日に矢印等を合わせて終算日に対応する日数を読む。
- このとき ① 片落日数の場合は起算日に▲を
② 両端落日数の場合は起算日に○を
③ 両端入日数の場合は起算日に●を合わせる。
- 注 逆日数計算の場合は②と③の記号(○●)が入れ替わる。

(例1) 片落日数の場合

6月19日は4月5日から何日目当たるか、又3月17日は何日前だったか。

4月5日に▲を合わせ、6月19日
3月17日に対応する日数を読む。
答 75日、19日

(第1図)

(例2) 両端入日数の場合(起算日を1日と加算する手形や利息等の計算に用いられる)

支払期日5月13日の約束手形を4月8日に割引してもらえば何日間の日歩を取られるか。

4月8日に●を合わせ、5月13日に対応する日数を読む。 答 36日

(例3) 閏年の2月29日が計算に入る場合、本計算尺は2月28日の平年としてあるから求められた日数に1日加算する。

1月16日に借りた金を3月25日に返済すれば何日間の日歩を支払えばよいか。(但し閏年2月が間に入るものとする)

1月16日に●を合わせ、3月25日に対応する日数を読めば69日となる。しかし2月が閏年ゆえ1日加算して70日とする。 答 70日

(注1) 支払日が休日に当たる場合はその翌日となり1日加算せねばならない。

週数についても同じような考え方でこなす

- B 期日を見るには起算日に矢印等を合わせて所定日数に対応する月日を読む。
- 前項で述べた起算日と矢印等の合わせ方はこの場合にも適応する。

(例4)

11月20から3週間後は何月何日か。

11月20日に▲(週数0)を合わせ、カーソル線を利用して週数3に対応する月日を読む。
答 12月11日

(第2図)

注 例えば11月20日が土曜日とすれば、週数の1,2,3,……に対応する月日はすべて11月20日と同じ土曜日である。

(例5)

3月15日に90日の手形を発行すれば支払期日は何月何日か。

3月15日に●を合わせ、日数90日に対応する月日を読む。 答 6月12日

(注2) 閏年2月29日が計算に入る場合は求められた月日の前日とする。

II 年数及び年齢の求め方

年数及び年齢は年数(年齢)の目盛と年号(又は西暦)の目盛を合わせることで座を知ることができる。

(例6)

平成元年は昭和20年から何年目に当たるか。

カーソルを利用して年数の▼に昭和20年を合わせ、平成元年に対応する年数を読む。 答 44年

従って年令ならば誕生日を過ぎていれば44才、誕生日前ならば43才となる。

(第3図)

III 万年カレンダーの使い方

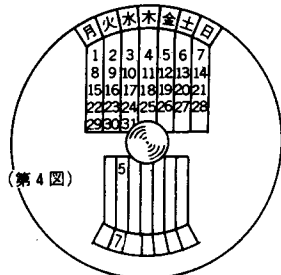
年号と月とを合わせればその年月のカレンダーになる。但し、窓内の年号は平成4年～平成19年で、平成3年以前の曜日を知りたいときは、年号と西暦の対照表によりその年の属する英字記号(A、B、C、D、E、F、G)を知り、窓内の中のその英字記号に月を合わせる。

注 年号(又は英字記号)の赤字は閏年を表わし、閏年の1,2月を見る場合は赤字の1,2に合わせる。

(例7) 平成4年～平成19年の場合

平成7年5月のカレンダーは?

窓内の中に元年を見出し、これに5月を合わせる。

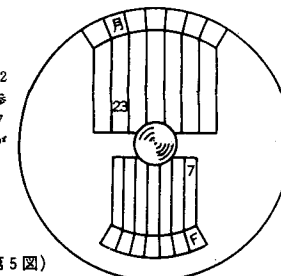


(例8) 平成3年以前の場合

大正12年7月23日は何曜日だったか。

まず年号と西暦の対照表によって大正12年の記号がFであることを知る(第3図参照)。次に万年カレンダーの窓内のFと7月を合わせると23日が月曜であることがわかる。 答 月曜

さて貴方の誕生日は何曜日だったでしょう?



一般乗除計算等(裏面)の使い方はNo.270N用説明書をご使用ください

- ★ 本品は硬質ビニール製につき60℃以下のところで御使用ください。
- ★ 使用等に関する御問い合わせは 東京都江戸川区平井2-16-23 株式会社 藤コンサイス 計算尺研究部へ 電話 132 TEL (3685) 0811 (代)